

「マーケットの浅読み・深読み」

発行・編集:FXニュースレター

執筆担当:斎藤登美夫

◆◆◆ No.0522 ◆◆◆

19/02/20

【 今年は欧州中心に世界的な「選挙イヤー」 】

昨年は、米上下院で与野党の議席が逆転する、いわゆる「ねじれ議会」の起こるキッカケになった 11 月の米中間選挙が市場で話題となったことは記憶に新しい。

そうしたなか、今年も「日本の参院選(ヒョットすると、衆参ダブル選の可能性も!?)」をはじめ、世界各地で重要な選挙が相次ぐことになる。その多くが欧州に集中していることは、昨年 12 月 26 日付の当レターでごく簡単に報じているが、今回の当レターでは比較的喫緊に実施される 2 つをチョイスし、改めてレポートしてみたい。まずは、今年の主な選挙について、抜き出しておく。

3 月・ウクライナ大統領選

4 月・スペイン総選挙

4 月・イスラエル総選挙

4 月・インドネシア大統領選

4 月・インド総選挙

5 月・欧州議会選

5 月・南アフリカ総選挙

5 月・豪州総選挙

5 月・ベルギー総選挙

10 月・ポルトガル総選挙

10 月・スイス総選挙

10 月・カナダ総選挙

10 月・アルゼンチン大統領選

10 月・ウルグアイ大統領選

<< ウクライナ大統領選 >>

ウクライナ中央選挙管理委員会は、3 月 31 日投票のウクライナ大統領選について、約 90 人から出馬申請を受け、このうち過去最多の 44 人を承認したと発表している。

そんな大統領候補者の数そのものは非常に多いが、「有力」とされるのはたったの 3 人。現職のポロシェンコ大統領にティモシェンコ元首相が挑むかたちで、それに人気コメディアンであるゼレンスキー氏がどこまで絡めるのかが焦点になりそうだ。

ちなみに、幾つかの現地世論調査によると、現職ポロシェンコ氏の票は伸び悩み苦戦が予想されている。東部で親ロシア派武装勢力との戦闘が続いているほか、経済改革も進んでいないことが嫌気され、支持が広がっていない。反面、ゼレンスキー氏やティモシェンコ氏は好調ではあるが、支持率はそれでも 10% 台後半から 2 割程度にとどまっている。

つまり、目に見えて「強い」候補がまだ不在の状態で、実際の投票まで状況が二転三転する可能性も取り沙汰されるだけでなく、1 回目の投票で過半数を制する候補が出ない場合には、上位 2 名による決選投票に持ち込まれるだけに、最終的な票読みは依然として不透明だ。誰が決選投票に進出するのかも、判然としない。

ただ、誰が当選するにせよ、当選後のロシアに対するスタンスは注目されるどころ。その対応如何では、欧州諸国などを巻き込み、再び一波乱巻き起こるとの見方も聞かれていた。

<< スペイン総選挙 >>

スペインのサンチェス首相は今日 15 日、上下院を解散し 4 月 28 日に総選挙を「前倒し」で実施すると発表した。閣僚の半分以上を女性にしたり、最低賃金引き上げを表明したりするなどして新鮮さを打ち出したものの、もともと少数与党のため 2019 年度予算案が議会を通らず政権運営が困難になったため限界を感じ、民意を問うことにしたようだ。

スペインの場合、法案の成立などで優越する下院の行方が注視されているが、一部の世論調査では、トップを走る与党・社会労働党でも支持率は約 24%となっている。つまり、現時点ではどの政党も単独で過半数を取れない見通しだ。

したがって、一部からは早くも連立の組み合わせについての指摘がなされており、いまのところ有力視されているのは現在の社会労働党を中心とした組み合わせではなく、右派 3 連合による連立政権。これまでスペインは、中道・左派が政権を担うことが多かっただけに、実際に「右派連合政権」が誕生した

場合には、政策が一気に変わる危険性も取り沙汰されている。たとえば、比較的寛容とされる難民政策についても変更余儀なしと予想されるうえ、独立運動がくすぶるカタルーニャ州にも厳しい姿勢で臨む公算が大きい。

スペインは、2015年と2016年にも総選挙が実施されるなど、たださえ国内政治情勢がなかなか安定しないのだが、4月総選挙を経たのち、スペイン政治は一段と流動的になり、さらなる泥沼に陥る可能性も否定できない。通貨ユーロにとって、スペイン情勢が弱材料となる危険性もある。(了)



当レターは、情報提供のみを目的としたものです。内容に関して正確であるよう注意を払っておりますが、その正確性を保証することはできません。投資や運用にあたっての最終的な判断は、あくまで読者自身の責任と判断によって、ご利用いただくようお願い申し上げます。また、本稿の無断転載・転送もご遠慮ください。なお、本稿に関する問い合わせは『FXニュースレター』までお願い致します。



Copyright (C) fx-newsletter limited company All Rights Reserved

